


# はあ〜てい

 この広報誌には、赤い羽根共同募金の配分金が使われています。

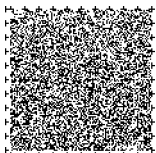
## 地域で守る子どもたちの安全

～『都茂地区まちかど声かけ隊』が見守っています～



美都町都茂地区では、地域の子どもたちが安心して学校に通えるよう、約40名の声かけ隊が登下校時の見守り活動を行っています。さらに、子どもたちの体調や小さな変化にも目を配り、学校とも連携し情報交換をしています。

都茂地区まちかど声かけ隊は、これからも『**地域の子どもを地域で守る**』活動を続けていきます。



※声かけ隊が着用している反射テープ付きのベストは、社協の地域福祉活動助成金を使って購入しています。

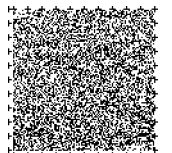
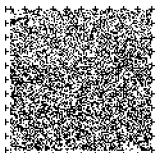
# 事業計画・予算

## 福祉のまちづくりを目指します！

### ■ 平成30年度予算

収入科目	予算額 (単位：千円)
会費収入	14,914
寄附金収入	7,441
経常経費補助金収入	103,433
受託金収入	321,876
貸付事業収入	2,500
事業収入	7,912
負担金収入	279
介護保険事業収入	546,310
保育事業収入	957
障害者福祉サービス等事業収入	6,545
受取利息配当金収入	29
その他の収入	1,596
基金積立資産取崩収入	0
積立資産取崩収入	70,000
拠点区分間繰入金収入	51,538
サービス区分間繰入金収入	46,132
前期末支払資金残高	120,257
<b>収入合計</b>	<b>1,301,719</b>

支出科目	予算額 (単位：千円)
人件費支出	677,912
事業費支出	227,126
事務費支出	98,466
利用者負担軽減額	189
貸付事業支出	2,000
共同募金配分金事業費	13,531
助成金支出	17,074
負担金支出	803
固定資産取得支出	0
ファイナンス・リース債務の返済支出	5,751
基金積立資産支出	420
積立資産支出	70,000
拠点区分間繰入金支出	51,538
サービス区分間繰入金支出	46,132
その他の活動による支出	25,883
予備費支出	400
当期末支払資金残高	64,494
<b>支出合計</b>	<b>1,301,719</b>



# みんなで支えあい、助けあう

## ■ 基本方針

益田市社会福祉協議会は、昨年度に益田市と一体となって策定した、『第3期益田市地域福祉計画・地域福祉活動計画』に基づき、計画の基本理念である『みんなで支えあい、助けあう福祉のまちづくり』の実現に向けて、行政をはじめ、地域住民、民生児童委員、社会福祉法人・福祉施設、関係福祉団体等との連携・協力のもと、誰もが安心して暮らすことのできる地域福祉のさらなる推進に取り組んでいきます。

## ■ 重点事業

### 1 益田市地域福祉計画・地域福祉活動計画に基づいた地域福祉の推進

#### ・第3期益田市地域福祉計画・地域福祉活動計画の推進

- ・ふれあいのまちづくり事業
- ・地域福祉活動助成事業
- ・地区社会福祉協議会との連携強化と活動支援
- ・関係福祉団体との連携強化と活動支援
- ・多目的福祉バス運行事業
- ・ふれあい・いきいきサロン事業
- ・ふれあい・子育てサロン事業
- ・福祉啓発・広報活動の充実強化
- ・ボランティア・市民活動の振興と福祉教育の推進
- ・益田市ボランティアセンターの運営
- ・災害発生に備えた被災者支援活動の推進
- ・共同募金運動、日本赤十字社事業への協力
- ・益田市ともしび基金運営協議会の運営
- ・地域包括ケアシステム体制の構築

- ・社会福祉法人・福祉施設との連携・協働による地域における公益的な取り組みの推進

- ・益田市社会福祉大会の開催
- ・益田市民余芸大会の開催（益田市、益田市社協、山陰中央新報社主催）

#### ・益田市戦没者合同追悼式の開催（3年に1回）

- ・友愛メール事業による見守り活動（美都）
- ・子育て用品貸出事業（美都）
- ・美寿苑高齢者サロン「暖暖茶の間」の開催（美都）
- ・安心♡お買い物宅配サービス「匹見らくらく便」事業、「らくらくサロン」の実施（匹見）

#### ・もみじの里地域交流ホールを有効活用した「もみじサロン（仮称）」の開設（匹見）

- ・小型除雪機貸出事業（匹見）

※網掛け部分は新規事業です。

### 2 関係機関・団体等との連携・協働による総合的な相談支援体制の拡充

- ・あんしん生活支援センターを中心とした包括的支援体制の整備
- ・総合相談事業
- ・生活困窮者自立相談支援事業〔市受託事業〕
- ・福祉資金貸付事業（生活福祉資金〔県社協受託事業〕、民生融金）

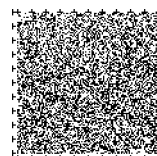
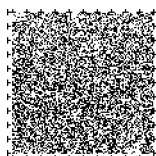
- ・入居債務保証支援事業
- ・フードバンク事業
- ・日常生活自立支援事業〔県社協受託事業〕
- ・法人後見事業
- ・市民後見人推進事業〔市受託事業〕

### 3 指定管理事業・介護サービス事業等の適正な管理経営

- ・指定管理事業（益田市総合福祉センター、児童館、匹見保育所、美都・匹見地域高齢者福祉施設の管理運営）
- ・在宅、施設福祉サービス事業

### 4 本会経営基盤の強化

- ・組織統治体制の確立と機能強化
- ・安定した財源確保と健全な財政運営
- ・職員の人材確保・育成・定着の推進



## 美都地域高齢者サロンを紹介します

美都地域では、4月から新たに2つの高齢者サロンが立ち上がり、現在10の団体が月に1回から2回のサロン活動を行っています。

今回はその中からふたつのサロンをご紹介します。

### 山本おたのしみ会（山本地区）



民家の一部を開放して行っているこのサロンは、地域からの「寄り合いの場が欲しい」という声が始まりでした。市、社協、環境団体、警察や運動療法士など、様々なジャンルの講師を招いての学習や、ゲームやハンドベルで脳を活性化したり、おしゃべりなどをして楽しんでいます。

サロンに集まることが健康のパロメーターにもなっており、欠席があると「あの人はどうされたんだろう」と確認し合います。



スタッフが用意するお菓子や軽食もお楽しみのひとつで、60代から最高齢は93歳までのメンバーで、体験談や昔話に花が咲き、月に一度のサロンを楽しく開催しています。

世話人\*小川美知子さん

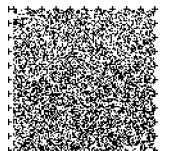
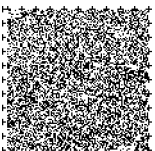


### なかよしハウス（下都茂地区）

平成25年9月より、気軽に誰でも参加できる『集いの場』として活動を始めたこのサロンも5年目になります。「ここに来るんが楽しみなんよ」「来るのが待ち遠しいんじゃけ〜」と嬉しいお言葉。同じ地域で暮らす身近な存在が心強く、集えばおしゃべりに花が咲き、笑い声が絶えず、明るく元気で仲が良いのが自慢のサロンです。

皆さん痛いところがそれぞれありますが、『健康で・仲良く・長生き!』を合言葉に、毎回3B体操は欠かしません。男女問わずクッキング、編み物、縫い物、頭の体操・・・と、とてもパワフルです。これからも、ずっとずっと手を取り合って、声かけ合って、この輪を大切に活動し続けていきたいと思っています。

世話人\*三浦百合子さん



## 第3期益田市地域福祉計画・地域福祉活動計画を策定

### 【基本理念 みんなで支えあい、助けあう福祉のまちづくり】

益田市と益田市社会福祉協議会が一体となり、第3期益田市地域福祉計画・地域福祉活動計画（計画期間：平成30～34年度）を平成30年3月に策定しました。計画推進に理解と協力をお願いします。

#### 1. 計画の目的

「地域福祉」は、一人ひとりが尊厳をもって、幸せに暮らせるように人権尊重を基本に、地域で暮らすすべての人が進めていくまちづくりの取り組みです。

この計画は、社会環境が変化する中で、子どもから高齢者まで、障がいのある人もない人も、誰もが安心して自立した生活を送ることができる環境づくりをめざすもので、「自助・共助・公助」があいまって、地域住民、行政、社会福祉協議会、事業者、ボランティアなど、地域福祉に関わる全ての人々が一体となり、みんなで支えあい、助けあう、「地域共生社会」の実現を目指した福祉のまちづくりに取り組みます。

#### 地域福祉活動計画

（益田市社会福祉協議会）

益田市社会福祉協議会が呼びかけ、地域住民、関係機関・団体、ボランティア、NPO等の住民参加により、地域の福祉課題解決へ向けての取り組みや地域づくりの支援方を定め、地域福祉を推進する計画です。

連携

#### 地域福祉計画

（益田市）

「益田市総合振興計画」の基本構想に即して、高齢者福祉、障がい者福祉、子育て・児童福祉等の個別の福祉計画の上位計画と位置付けられます。また、各分野の施策を地域福祉の観点から連携・整合性を図り推進する計画です。

#### 2. 重点課題

本市における地域福祉推進体制の状況、そして「まちづくりラウンドテーブル」や各公民館単位で地域自治組織設立に向け行われた住民アンケートにより把握した住民の意見、地域課題を踏まえ、特に解決を図るべき重要な課題として設けています。今後、具体的施策の実現の為に取り組んでいきます。

①地域福祉推進体制の再編

②交通及び買い物等手段の確保

#### 3. 計画の基本目標

「みんなで支えあい、助けあう福祉のまちづくり」を推進する為に基本目標に沿って具体的な施策の展開を図ります。

##### 基本目標Ⅰ 地域福祉の担い手づくり

- I-1 学校での福祉教育の推進
- I-2 地域での福祉教育の推進
- I-3 ボランティア、NPOなど市民活動の育成、支援
- I-4 福祉意識の醸成と啓発

##### 基本目標Ⅲ 多様なサービス提供の仕組みづくり

- Ⅲ-1 相談体制とサービス提供体制の充実
- Ⅲ-2 情報の提供体制の充実
- Ⅲ-3 利用者主体のサービス実現

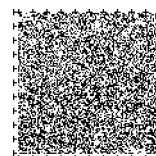
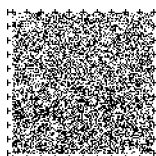
##### 基本目標Ⅱ 地域福祉のネットワークづくり

- Ⅱ-1 住民主体による地域福祉活動の推進
- Ⅱ-2 緊急時・災害時に備えた地域のネットワークづくり

##### 基本目標Ⅳ 暮らしを支える環境づくり

- Ⅳ-1 就労支援と地域での働く場づくり
- Ⅳ-2 交通及び買い物等手段の確保
- Ⅳ-3 バリアフリー、ユニバーサルデザインのまちづくり

計画は市及び社協のホームページからダウンロードできるようにする予定です。



# ますだボランティア情報

No. 41  
2018.5

温かな聴き手を目指して・・・



澤村直樹氏



ワークの様子

3月23日(金)、益田市ボランティアセンター研修会を開催し、約60名の市民の皆様にご参加いただきました。

今年度は、『ボランティア・日常に役立つ傾聴入門講座～温かな聴き手を目指して～』と題し、日本傾聴ボランティア研究センター 理事長 澤村直樹氏にご講演いただきました。

心の安定を引き出す姿勢や、あいづちの打ち方など、傾聴するときに大切なことや、寄り添う聴き方について、ワークを交えながら学びました。最後に、温かな聴き手を目指す上での傾聴の原則とは、『言いたいことは、二言目。一言目には、受け止める言葉』と話されていたのがとても印象的でした。

## エコキャップの収集のご協力に感謝

今年もたくさんのエコキャップの収集にご協力いただき、ありがとうございました。



集まったエコキャップ

- 集まったエコキャップの総量：122,710個(297kg)  
⇒48.5人分のワクチンとなって世界の子どもたちに届けられます。
- 引き続きエコキャップの収集にご協力をお願いいたします。

### ○エコキャップ収集のご注意

収集できるキャップは、**ペットボトルのキャップのみ**となっております。調味料のキャップや灯油缶のキャップ等は収集できませんのでご注意ください。

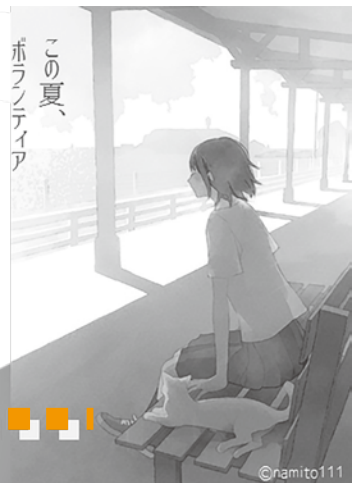
収集場所：益田市社協（本所・美都・匹見）、各地区振興センター

## Summer Volunteer School 2018

であいふれあい in Summer

5月下旬より、市内の中高生を対象とした、サマーボランティアスクールの申込受付を開始いたします。詳しくは学校の担当の先生または、下記連絡先までお問い合わせください。

この夏、ボランティア  
しませんか？

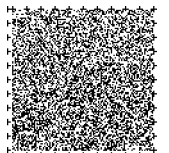
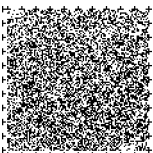


©namito111

主催：益田市ボランティアセンター(益田市社会福祉協議会) 共催：益田市教育委員会 後援：益田教育事務所他

お問合せ先

益田市ボランティアセンター（益田市社会福祉協議会）  
TEL：22-7256 FAX：23-4177  
（月～金 8:30～17:30）



## 平成30年度 益田市総合福祉センター老人・母子講座のご案内

総合福祉センターでは、老人・母子福祉事業の一環として、お年寄りの方に教養を高め、明るく豊かな老後を過ごしてもらうため、また母親と児童の相互理解を深め、福祉の向上を図るため老人・母子講座を開催しております。今年度は下記のとおり行いますので、是非ご参加下さい。対象は、老人（60才以上）及び母子・寡婦の方です。

講座名	社交ダンス教室 (初心者・中級者)	囲碁教室	習字教室	手編教室	園芸教室	いきいき健康教室 (筋肉トレーニング)
期間	5月11日～3月8日	6月14日～11月8日	5月15日～3月12日	5月12日～3月9日	5月18日～3月15日	5月18日～3月1日
期日	毎月第2金曜日	毎月第2,4木曜日	毎月第2火曜日 (初回第3火曜日) (8月第1火曜日)	毎月第2土曜日 (8月第1土曜日)	毎月第3金曜日	毎月第1金曜日 (初回第3金曜日)
時間	13:30～15:30	9:30～11:30	13:30～15:30	10:00～12:00	13:30～15:30	9:00～10:00
回数	11回	11回	11回	11回	11回	11回
講師	増野栄一	田原俊平	城市霊泉	中田登志枝	城市政知	美原愛子
集人数	40名程度	20名程度	20名程度	20名程度	20名程度	15名程度
受講料	無料	無料	無料 (但し、実費必要)	無料 (但し、実費必要)	無料 (但し、実費必要)	無料
内容その他	・初心者の方大歓迎。 ・毎月第4金曜日は自主的に実施。 ・ハイヒール等の靴は使用禁止です。	・初心者の方大歓迎。	・習字用具等は各自でご持参下さい。	・初心者の方大歓迎。 ・編み棒、かぎ針は各自でご持参下さい。	・材料代等は各自でご負担して下さい。	・膝、腰、股関節など痛みのある方、足腰に自信のない方大歓迎。 ・運動のできる服装でご参加下さい。
開催日程(予定)	5月11日・11月9日 6月8日・12月14日 7月13日・1月11日 8月10日・2月8日 9月14日・3月8日 10月12日	6月14日・9月13日 6月28日・9月27日 7月12日・10月11日 7月26日・10月25日 8月9日・11月8日 8月23日	5月15日・11月13日 6月12日・12月11日 7月10日・1月8日 8月7日・2月12日 9月11日・3月12日 10月9日	5月12日・11月10日 6月9日・12月8日 7月14日・1月12日 8月4日・2月9日 9月8日・3月9日 10月13日	5月18日・11月16日 6月15日・12月21日 7月20日・1月18日 8月17日・2月15日 9月21日・3月15日 10月19日	5月18日・11月2日 6月1日・12月7日 7月6日・1月4日 8月3日・2月1日 9月7日・3月1日 10月5日
会場	大集会室	研修室	大集会室	会議室B	ふれあい広場	大集会室

益田市総合福祉センター

- ※ 期日や会場は原則的であり、変更場合があります。
- ※ 申し込みは、平成30年5月7日(月)より電話でのみ受付をします。総合福祉センター(TEL 22-7256・FAX 23-4177)までお願い致します。また、定員になりしだい締め切りさせていただきます事をご了承下さい。詳しいことは、益田市社会福祉協議会(総合福祉センター)へお問い合わせ下さい。平成30年5月7日以前の受付、及び土・日曜日の受付は一切行いませんのでご了承下さい。
- ※ 当講座内での物品の販売、センター講座以外への勧誘行為は禁止します。そのような行為を発見確認しましたら当講座を辞めて頂く場合もありますのでご理解下さい。

### 善意の輪 (平成30年2月1日～平成30年3月31日) 敬称略

ご寄附ありがとうございます。地域福祉活動事業費や、福祉基金積立の原資として、大切に活用させていただきます。

【香典返し】	【香典返し】	【一般寄付福祉事業へ】
(故) 宮内 福 戸田町 金一封	(故) 岩木 大助 安富町 金一封	竹岡 純一 高津二丁目 金一封
(故) 渋谷 富孝 飯田町 金一封	石川 安紀 梅月町 金一封	秋吉 宣子 乙吉町 金一封
小沢 通成 遠田町 金一封	三浦 修治 波田町 金一封	秋月 美保 美都町山本 金一封
(故) 宮内登三子 喜阿弥町 金一封	(故) 松永トメ子 下種町 金一封	
石田 耕一 大谷町 金一封	(故) 中島 安美 戸田町 金一封	
(故) 火脚 梅幸 美都町丸茂 金一封	渡邊 治平 赤雁町 金一封	
(故) 加藤 茂 美都町都茂 金一封	(故) 村上満寿美 匹見町匹見 金一封	
福原 久 久城町 金一封	(故) 西岡ヤエ子 匹見町匹見 金一封	
石川 丈二 薄原町 金一封	(故) 入澤 惇 匹見町道川 金一封	
山本 静子 遠田町 金一封	(故) 大谷 静子 匹見町広瀬 金一封	

### 特別会費へのご加入 ありがとうございました

敬称略

(有)ダスキン石見 (株)日の丸時計店  
皆様から頂きました会費は、地域福祉の推進のために大切に活用させていただきます。

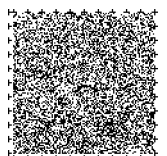
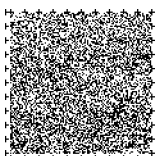
### ふれあい福祉相談のご案内 5・6・7月の相談日

相談	開催日	時間	場所
無料法律相談	5月11日・6月8日・7月13日(金)	13:00～15:00	益田市総合福祉センター
ふれあい福祉相談	5月11日・6月8日・7月13日(金)	10:00～15:00	
老人母子相談	5月11日・25日(金) 6月8日・22日(金) 7月13日・27日(金)	10:00～15:00	

『どこに相談したらいいの?』という、家庭内外のトラブルや心配ごと等、ふれあい福祉相談をご利用ください! 広く日常生活上の相談をお受けしています。

お問合せ  
ご予約

益田市社会福祉協議会(益田市須子町3-1)  
TEL: 22-7256 FAX: 23-4177 (月～金 8:30～17:30)



## 『益田市ともしび基金』へご寄附いただきました

3月7日(水)、原浜保育所の年長児のみなさん(30人)が益田市社協を訪れ、募金箱に集まった16,756円を『益田市ともしび基金』へ寄附しました。



原浜保育所園児

園児たちは「困っている人のために役立ててください」と声を合わせ、益田市社協の河野事務局長に手渡しました。

4月から小学生になる園児たちに、河野事務局長から「ありがとう。小学校に入学したら交通事故に気をつけて元気で学校に行ってください。」とお礼の言葉をかけました。頂いた募金は市内の交通遺児や要保護世帯の子どもたちに贈られます。

皆様のご支援ご協力に感謝申し上げます。

## 益田市の団体が表彰されました

### 平成29年度 健康づくりグループ表彰

《健康長寿しまね推進会議会長賞》  
団体名 白上いきいきサロン松光会

《圏域健康長寿しまね推進会議会長賞》  
団体名

- ・中須和みの会
- ・いきいきサロン緑ヶ丘南
- ・いきいきスタディ (鎌手地区)
- ・二川地区ふれあい・いきいきサロン
- ・高津地区健康づくりの会
- ・益田地区健康と福祉をすすめる会

しまね流福祉のまちづくり  
活動団体知事表彰

《健康長寿しまね推進会議会長賞》

団体名 雪舟橋ふれあいサロン

おめでとうございます。ますますのご活躍をお祈りいたします。

成

年

後

見

講演会

8/5 (日) 13:00~

会場: 益田市総合福祉センター

## 開催のお知らせ

この夏、実際に一市民として後見活動をしている方をお招きし、成年後見制度に関わっている人たちの生の声をお伺いします!

既に成年後見制度を利用している方、いま利用を検討されている方、もし自分や家族が認知症になったらどうしようと不安に思われている方、少しでも関心をお持ちの方はぜひ本講演会にお越しください。

※成年後見制度は、認知症等で判断能力が不十分になった人を支える制度です。

お問い合わせは益田市社会福祉協議会

☎ 0856-22-7256 / FAX 0856-23-4177 担当・河上まで



発行: 社会福祉法人 益田市社会福祉協議会  
編集: 益田市社会福祉協議会広報運営委員会

「はあーてい」は英語で「心の温かい」、「真心のこもった」という意味をもつ「Hearty」の読みを日本語表記したものです。

社協ホームページ

益田市社協

検索

